

伝統芸能の継承について

校長 石岡秀久

ここ硫黄島では、多くの伝統芸能が引き継がれています。県指定無形文化財でもある八朔を初め、盆踊り、九月踊り、柱松…。

人口や若者が減少する中、伝統芸能を引き継いでいくことが、どれほど困難なことか、準備や練習の様子を見るとしみじみと感じ取れます。八朔と起源を同じにするとと思われるいちき串木野市の「七夕踊り」も来年度から行わなくなっていることから継承の難しさを考えさせられます。

伝統芸能が廃れていく過程があるように思います。

- 1 人口の減少及び高齢化
- 2 旧暦で実施していたのを実施月の第一日曜日のように変更
- 3 地域で実施困難になり、学校の運動会や文化祭などの行事と抱き合わせ
- (4 子供の減少により、学校閉校)

歌、踊りを伝えるお年寄りの存在も大事だと思えます。先祖代々守り続けてきた伝統芸能です。今後も末永く引き継いでいければいいなと感じることでした。

変わらないもの、変わりゆくものが、どの社会でもあります。学校も同様かと思えます。硫黄島の伝統芸能のように、地域に末永く親しまれる学校の創造に努めてまいります。今後ともよろしく願います。

〈学園パワーで硫黄島をもっと元気に〉～心を一つに最高の文化祭～

12日(土)地区体育館で文化祭が行われました。地域の方々がたくさん来てくださり、子供たちは良い緊張感で舞台上上がることができました。

総合的な学習の時間「地球科」・各教科で学習したことを各学年が知恵を絞って工夫を凝らした発表になりました。1・2年生は国語で学習した「スイミー」を硫黄島バージョンにアレンジした劇を。3・4年生は写真をふんだんに使い、テレビ番組やYouTube動画のような硫黄島のいいところ紹介を。5・6年生は「地球科」でSDGsの観点から硫黄島の環境問題について学んだことをプログラミング学習で習得したICT技術を活用しての発表を。後期生は「Q1グランプリ」～ダンスを添えて～と題して、会場の皆さんに参加していただくクイズとキレイのダンス発表を。その他、合奏・合唱・たけんこ学級の「ガンバレ小・中学生」・職員バンド。そして、前期生の体育「やればできる」では、練習で一度も成功しなかった跳び箱に成功した莉晏さん・静さん・逸聖さん・櫻さんに「挑戦することの大切さ」を学ばせてもらいました。来年度は、地域の皆様にも舞台上上がっていただけたらと思っております。よろしく願います。



〈自ら考えて行動を〉～児童生徒総会～

新たな硫黄島学園の伝統を作るため、後期児童生徒会が誕生しました。自ら考えて行動できる児童生徒会になれるよう期待しています。



会長：白石れもん



副会長：海老原太陽



書記会計：松下寛大

〈行事などの多かった11月〉

～4日(金)前期生稲村岳登山～



～8日(火)警察官講話～



～12日(土)PTA芋掘り～



～18日(金)学校保健委員会～

診療所のガイトンさやかさんを講師に迎え、「思春期の子供が“いま”に気付くこと I con と This is me. それからウサギとカメ、みんなのストップボタン」という題で講話をしていただきました。子供たちには自己肯定感・自己効力感を育むことが大切である。診療所から見える学園の姿に気付かされました。

〈優秀教職員表彰〉～地域連携～

本校の西希里子教諭が鹿児島県優秀教職員表彰を受けました。地域連携部門での受賞です。地域の方々からの協力あっての受賞です。皆さん、ありがとうございました。(26日付 南日本新聞に掲載されています。)



④ 三島村立三島硫黄島学園
教諭 西希里子
「ICTを活用した遠隔教育」と「地域人材の活用し、児童生徒が相互に学び合う授業」を行うなど、地域と学校をつなぐことで、離島教育の充実に貢献

《お知らせ》

12月10日(土)校内持久走大会を実施します。

10:35…開会式 10:45…スタート

地域の方々の飛び入り参加、大歓迎です!!



インスタ
フォロー
してね☺



みしまっこ
日記も
よろしく